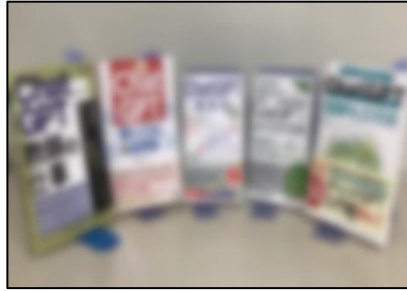
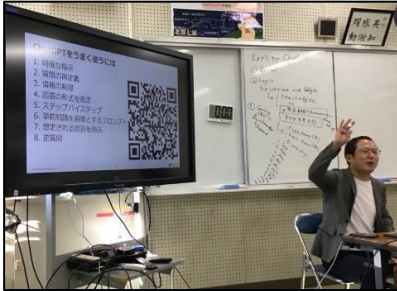


<教育利用> ① 「生成AIを学びに生かすまでの段階的な取組」

生成AI自体を学ぶ(教職員)



「そもそも生成AIとは何なのか」「子どもにどのような学びをもたらすのか」など、専門家から話を聞いたり、書籍からヒントを探し出したりと初步的な疑問の解決や不安の解消を行った。そして目指すべきゴールを設定し、共通理解を図った。

生成AI自体を学ぶ(生徒)

AI が代わりにやってくれたこと

- ① 解決に関する情報を集めてくれてすげー!
- ② 関係する情報をくっつけてくれてすげー!
- ③ 文章にして、かっこよく説明してくれてすげー!

しかも**37秒**かよ! まじ天才!



「日常生活とAI」「生成AIの仕組み」「利便性、リスク、留意点」等について3回にわたってオンラインで生成AIに関する基礎知識の定着を図った。その後、保護者へ「学習における生成AI活用の同意書」を配布し、周知する中で協力を呼び掛けた。

使い方を学ぶ(生徒)

1月30日(火) Mission 7

Chat GPT へ話しかける言葉はこちら!

(例) 「以下の人物を想定し、「高校受験は是か否か」をテーマに両者の間でディベートを展開してください。表示は両者の発言の形式にしてください。  
人物Aは、高校受験に賛成  
人物Bは、高校受験に反対

- (例) 「なぜ江戸幕府は滅亡したのか教えて!」  
2発目 「滅亡しない方法はなかったの?」  
3発目 「滅亡を阻止した人物は誰?」  
4発目 「なんでその人は阻止できなかったの?」  
5発目 「外国ってどの国を言ってるの?」  
6発目 「なんでそんなに明治政府は強いのか?」

この2発目以降の攻撃を「あらかじめ考えておく」のではなく、相手の回答から『より自分が知りたいこと』を瞬時に判断し、間髪入れず質問できるか!?

基本的な操作は「使いながら」学んでいく。その後、よりよい回答を引き出すため、全10回の対話スキルトレーニングにチャレンジした。生徒は、プロットの重要性や検索エンジンとの違いを感じ取りながら、活用パターンを習得していった。